

A Preview of Pavilions
Denmark

デンマーク館
ハッピー・ライフ フェアリー・テール・ランド



デンマーク館のイメージ図

A Preview of Pavilions
Denmark

2010年5月下旬のある日、デンマークの首都・コペンハーゲンの北部にある港湾地区ランゲリニエから「人魚姫」の銅像が消えるかもしれない。台座にあたる岩石に「申し訳ありませんが、上海万博のため中国に行ってしまう」というメッセージを残して…。

文：王焱冰 写真：徐潔晨

人魚姫の外遊

人魚姫の銅像は、1913年に彫刻家エドワード・エリクセンがデンマークの童話作家アンデルセンの童話「人魚姫」をもとに制作したデンマークのシンボルだ。2008年9月10日、デンマークの王子とカールステン・ポイヤ・トアゲルセン上海総領事館・総領事がそれぞれデンマークと上海で同時に2010年上海万博デンマーク館のコンペ優勝案を発表した。優勝したデザイナー・チームは本物の「人魚姫」をデンマークから上海に連れてきたいと考えているのだ。この願いが実現すれば、百歳に近い「人魚姫」にとっては初めての外遊になる。

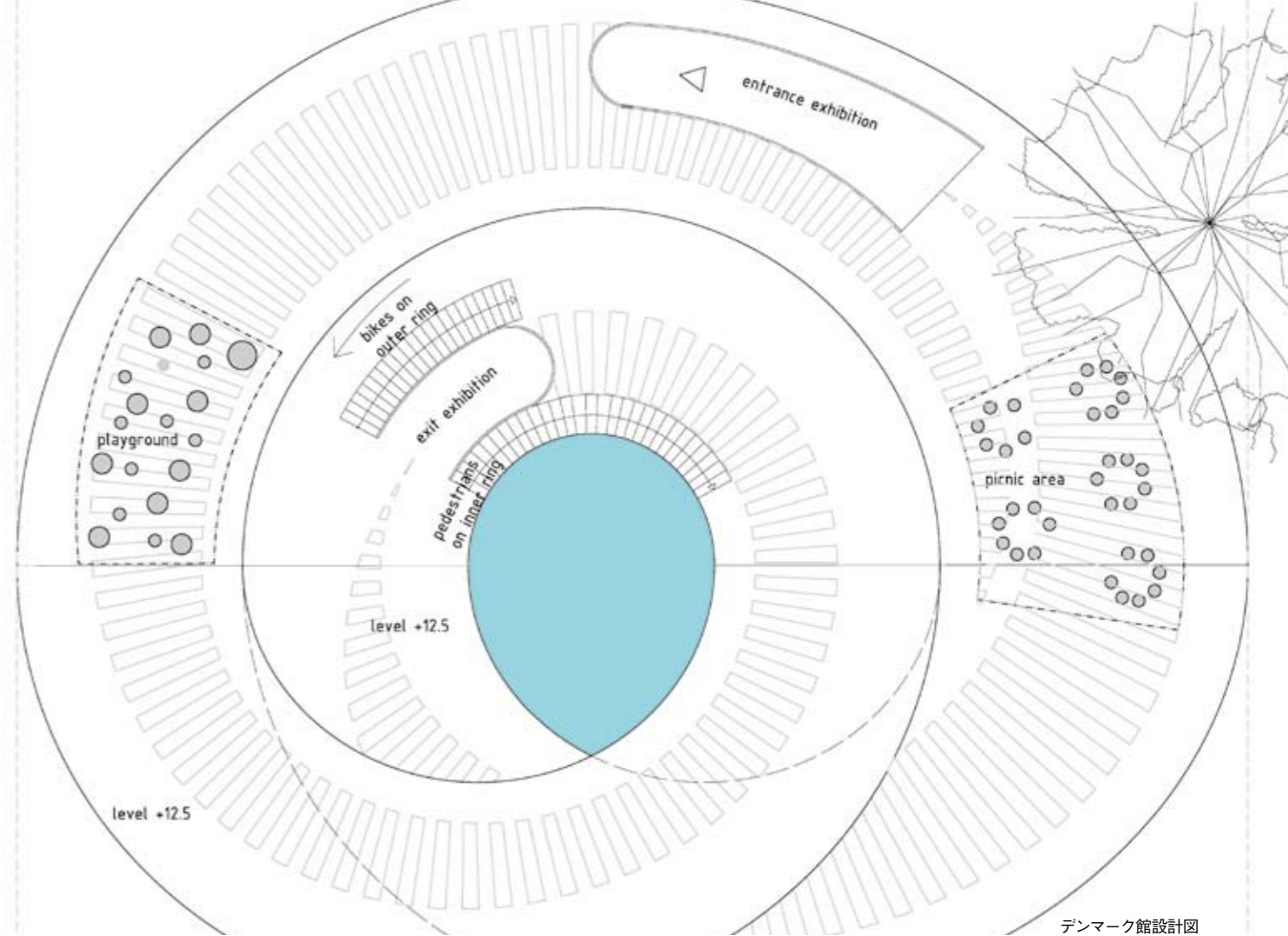
優勝案はデンマークのBIG社の若い建築士とコンセプト企画会社の2+1によるものだった。32歳という若き建築士インゲルス氏は、いきなり「人魚姫」が上海に新居を構えるという奇抜なアイデアを提案した。この新居が上海万博会場のヨーロッパ各国のナショナル・パビリオン・エリアにあり、そして、「Welfairytale」という美しい英文名がつけられている。すなわち「welfare」（幸福）と「fairy tale」（童話・おとぎ話）との組み合わせである。

「Welfairytale」——この名前のように、デンマーク館は健康、

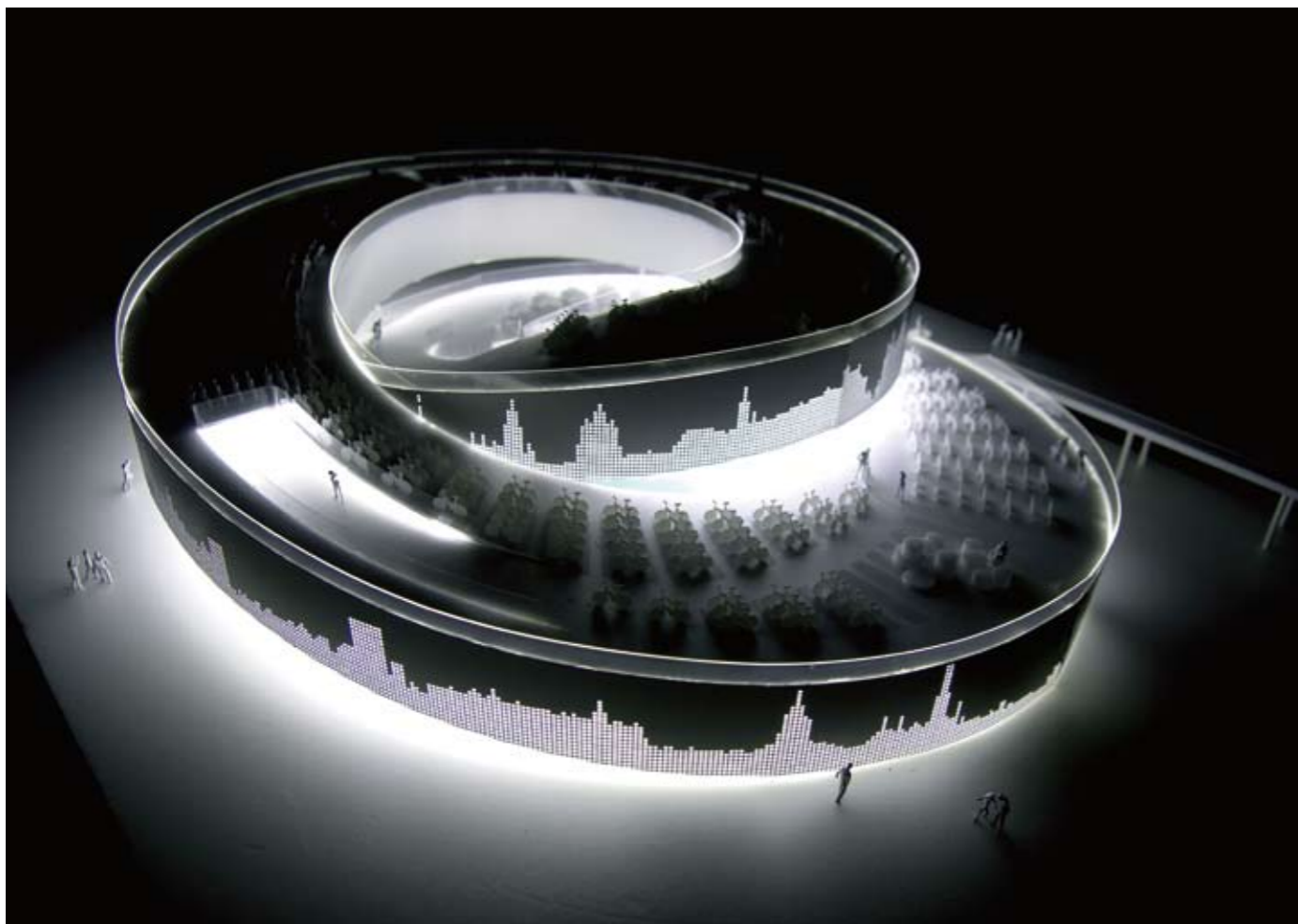
A Preview of Pavilions Denmark

**ハッピー・ライフ
フェアリー・テール・ランド**
人魚姫の外遊を彼女の親であるコペンハーゲン市政府やデンマークの国民はどう考えているだろう。総領事はこれに対して極めて楽観的である。「この計画はまだ調整中であるにもかかわらず、コペンハーゲン市長や一部の民間組織や国民の支持を得ており、デンマークの国民と企業界が中国と連携を強めたいとの願いを表し、人魚姫が上海を訪れる日を楽しみにして

待ち望んでいる」と、氏は自信たっぷりに話した。コペンハーゲン市の観光業界も人魚姫の上海観光に賛同していると市観光担当のハンセン氏はいう。「童話の中で人魚姫は箱入り娘ではなく、自由のない生活がきらいだった。彼女は自分の夢を追い求めたいのだ」と。
人魚姫が留守の間、デンマークを訪れる観光客は少し残念がるのではないかという心配は不要である。人魚姫が彼らのためにメッセージを残し、その中で彼女は中国の友人をみんなに紹介するのだ。構想によると、人魚姫が上海を訪れる間に、人魚姫がいた場所には中国の現代芸術家が創作した彫刻作品が立つ計画である。また、彫刻の横に設置されるテレビ画面を通して、遠い上海にいる人魚姫の異郷でのハッピー・ライフを紹介するぞうだ。
デンマーク館の設計チームが示すハッピー・ライフは、富だけに限らず、人間に優しい生活、環境との調和と共生を実現させる体験である。「ハッピー・ライフ・フェアリー・テール・ランド」は消費や成長と持続可能な発展を緊密に繋げる状態であることである。この新しいフェアリー・テールの世界は、生活の質とは何を意味するか、都市計画はいかに人々に健康で幸せな環境をつくりあげるかをも見学者に示すぞうだ。

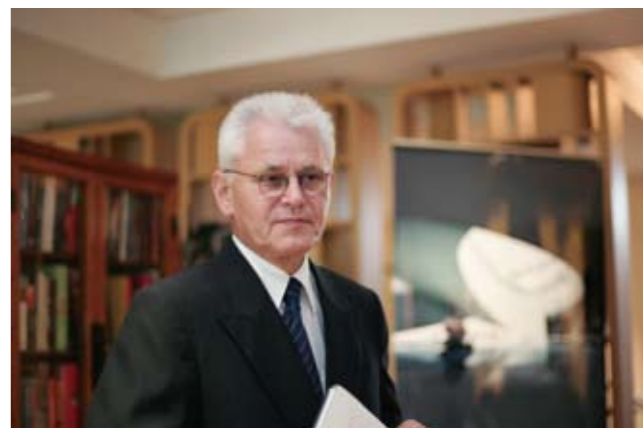


デンマーク館設計図



デンマーク館完成予想図

幸福をテーマにして新しいフェアリー・テールをわれわれの前に運んでくる。
**デンマークのフェアリー・テール
が上海で芽生える**
上海万博のデンマーク館は、デンマークが万博に参加して以来最大規模の投入である。プール、百台以上の自転車、人魚姫の像など、バラエティに富む多彩な展示を見せる。
パビリオンの設計は二つの環状レールか



カールステン・ボイヤ・トアゲルセン総領事

ら構成され、それによって室内と室外とを分け、一つの舞台につながり、俯瞰すると螺旋体という型破りな展示スタイルである。敷地面積3000平方メートルのパビリオンは室内と室外の展示空間が1対2の比率で、外観が独特なだけでなく、来場者に室内と室外を行き来することで、異なる趣を体験させる。
自転車に乗りながらデンマークの人と交流し、彼らの生活や夢を理解する。子供たちは遊園地で遊び、野外でデンマークからのオーガニック食品を味わい、足で「デンマークの港から来た」水を体験する（この水はデンマークから来たわけではないが、水質はデンマークの港と同じようになっている）。デンマーク館は見学者にデンマークの都市生活を体験でき、デンマークのライフ・スタイルの楽しさを実感できるのだ。
構想によると人魚姫はデンマーク館の中心に設置されたデンマークの港を象徴する池の中央に座り、世界各地からの見学者を迎え入れるという。これはデンマーク館のハイライトといえ、同時にデンマークが文化の交流や融合に対する保留なしの積極的な態度がうかがえる。
人魚姫はもっともすばらしい文化交流の使者になるに違いない。